



JPI催しのご案内

2010

9

月

社団法人 日本包装技術協会 関東支部

開催要領

会場 社団法人 日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

日時 平成22年9月13日(月) [第1部]13:15~15:00 [第2部]15:15~17:00

参加費 JPI法人・個人会員:無料 / 一般:3,150円(1講演あたり)

第1部 第184回包装資材研究会

13:15~15:00

【テーマ】「海外の最近の包装事情について」

(株)東洋紡パッケージング・プラン・サービスでは、これまで、海外の包装サンプルを現地スーパーマーケット等で入手、あるいは代表的な海外の包装展示会で包装関連情報および包装サンプル等の入手を行い、海外の包装のトレンドおよび包装事情についての情報を継

続的にウォッチしてまいりました。本講演では、この活動の中から、最近の欧米およびアジア(中国、ベトナム等)における包装事情、包装事例についてご紹介いたします。

【講師】(株)東洋紡パッケージング・プラン・サービス 情報調査部 部長

森 啓 治 氏

【コーディネーター】ニッターパック(株) 営業技術部 取締役営業部長 包装管理士

山 口 秋 司 氏

ユニチカ(株) フィルム事業本部 フィルムカスタマー・ソリューション部

阪 倉 洋 氏

第2部 第63回包装情報研究会

15:15~17:00

【テーマ】「環境ユニバーサルデザインが拓くパッケージの未来」

これからのパッケージ作りには、生物多様性の保全など「環境に配慮する視点」と、人間中心の設計に基づく「ひとに配慮する視点」がますます重要になってきました。また、この2つの側面はパッケージ作りのみでなく商品価値、さらにはブランド価値を構築するための基本要素としてマネジメントしていく必要があります。今回は、これらの重要な価値要素の効果的な活用に関して、どのように取り組んでいくべきかについて、最新の事例やパッケージサンプルを踏まえながらご紹介していきます。

- 形状変更や機能付加・印刷表現によるユーザビリティの向上
- 使いやすさを追求した各種パウチやカートン
- 機能性フィルムの使用による脱アルミやロングライフ化
- 間伐材を利用したり、分別廃棄を可能する環境配慮設計製品 など

【講師】凸版印刷(株) 生活環境事業本部 事業戦略本部 販売促進部 部長

中 井 裕 太 氏

【コーディネーター】(株)吉野工業所 研究室 課長 包装専士

田 中 文 典 氏

キリンビール(株) パッケージング研究所 包装専士

菅 原 啓 氏

本研究会は包装や物流に関する専門的知識の普及を目的としたものであり、受講のためには同分野での経験が必要です。

9月研究会参加申込書

研究会に参加を希望される場合には、下記申込書にご記入のうえ、本紙をFAXして下さい。(FAX番号 03-3543-8970)

| | | | |
|------------------|----------|-----------------|---------|
| 法人会員 ・ 個人会員 ・ 一般 | | いずれかに必ず○を付けて下さい | |
| 会社名 | | TEL | |
| 所在地 | (〒) | FAX | |
| 参加者 | (氏名) | (所属役職) | |
| | (e-mail) | @ | 第1部・第2部 |
| | (氏名) | (所属役職) | |
| | (e-mail) | @ | 第1部・第2部 |
| | (氏名) | (所属役職) | |
| | (e-mail) | @ | 第1部・第2部 |